

歯科保存領域のエビデンスを検証して見えてきたもの 臨床歯科医の責務と目指すべきもの

新潟大学大学院歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野 教授
野村由一郎先生



- 1989年（平成元年）徳島大学歯学部 卒業
- 1989年 徳島大学歯学部附属病院助手 保存科
- 1997年 大阪大学歯学部助手 歯科保存学講座
- 1998年 大阪大学博士（歯学）
- 2008年 大阪大学歯学部附属病院講師 保存科
- 2012年 大阪大学大学院歯学研究科准教授
- 2016年 新潟大学大学院歯学総合研究科
口腔健康科学講座う蝕学分野教授

私は、歯科保存学と戯れ、今年が節目の30年目となります。私自身が、EBDについて数年前より気づいた、気になっていること、漠然とした疑問があります。それは、

1. 基本的な事象ほどエビデンスとされる文献（科学的根拠）の発表年数が古いこと。
2. 古い文献に基づいたエビデンスほど、in vitro研究を根拠としているものが多く、中にはエビデンス自体に疑義がある（解析方法が古すぎる等）ものが存在すること。
3. エビデンス自体を拡大解釈したり、誤解することによって生まれた誤った定義や概念いわゆる迷信が定着している。

と言ったことによって、日々の臨床にそぐわないと感じるというのが具体的な内容です。この度は、そう言った日々の臨床の疑問を臨床医の目線で洗出し、エビデンスの在り方を再考するとともに、今後のEBM(D)の在り方、特に歯科治療における臨床研究の重要性、臨床を通してやるべきことは何かを皆様と共に考えてみたい。

日時 2018年6月17日（日）10：00～12：30
 会場 つるやホール（大阪市中央区本町3-3-5）
 受講料 歯科医師 ¥ 8000 コ・デンタル ¥ 4000 定員 40名

懇親会 13：00～15：00 華都飯店 本町ガーデンシティ店（大阪市中央区本町3-6-4）
 参加費 ¥ 7000

申し込み方法

下記に必要事項をご記入、チェックの上、FAXにて送信後、指定口座にご入金ください。
お振込みの確認が取れ次第、正式登録となります。振り込み手数料はご負担願います。

振り込み先 三菱東京UFJ銀行北畠支店 普通0095660 ステイグループニチヨカイクシマスビロ
 FAX 06-6627-0878（くしま矯正歯科）
 お問い合わせ先 06-6701-2033（河村歯科）

(フリガナ)	()	<input type="checkbox"/> 歯科医師	勤務先名	紹介者
氏名		<input type="checkbox"/> コ・デンタル		
		<input type="checkbox"/> その他		
住所 〒			TEL	
<input type="checkbox"/> 勤務先			FAX	
<input type="checkbox"/> 自宅				
			E-Mail	
参加形態	<input type="checkbox"/> 記念講演会のみ(Dr. ¥8000, Co-dent. ¥ 4000) <input type="checkbox"/> 記念講演会と懇親会(Dr. ¥15000, Co-dent. ¥ 11000) <input type="checkbox"/> 懇親会のみ(¥7000)			
	※該当する箇所をお選びください			